

ヒトモノコトが
出会うまち

ina

キラキラ Town 伊奈



町制施行50周年記念伊奈町町勢要覧



ヒトモノコト が出会うまち

ina キラキラ Town 伊奈

伊奈町町制施行50周年記念



もくじ

ビジュアルで見る伊奈町

- 美しきバラのまちP4-5
- 交差・交流つなぐまちP6-7
- 人を創る学びのまちP8-9
- 文化が活きるまちP10-11
- 健康と子育てのまちP12-13

私たちの伊奈町を紹介します

- 小西 伶奈さんP14
- 山形 美由紀さんP15
- 大橋 一幸さんP16
- 丸崎 麻衣さんP17
- 町田 伸吉さんP18
- 木村 正彦さんP19

- 町長対談 / その1・伊奈町中学生P20-21
- その2・歴史学者P22-23
- INA TOWN MAPP24-25
- 伊奈備前守忠次・伊奈町の文化財P26-27
- 観光情報(おまつり&特産)P28-29

- 伊奈町総合振興計画P30-31
- 伊奈町50年の歩みP32-35
- 伊奈データP36-37
- 議会、伊奈町民憲章、町章、町の花、町の木P38
- 伊奈町の交流都市、公式HP・SNSP39

ようこそ伊奈町へ



伊奈町長 大島清

埼玉県伊奈町は令和2年11月1日、町制施行満50年という記念すべき日を迎えました。

歴史をさかのぼること1591年、町名の由来ともなった伊奈備前守忠次が、ここ武蔵国足立郡小室に陣屋を構え、関東一円の治水や新田開発、河川改修等を行い、関東繁栄の礎を築きました。

それから430年の歳月を経て、町内におよそ45,000人が住む、全国でも有数の大きな町となりました。豊かな自然と心安らぐ田園風景に囲まれながらも、首都中心部から40km圏内という地理的条件に加え、埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)の開通や都市基盤整備などによる住環境の向上とともに人口も増加し、若い人々が集う活気あふれるまちとして、さらなる発展を続けています。

これまで先人たちが築いてきたこの町を、一層魅力あるまちとして将来に引き継いでいきたいと思えます。この先、町制100年を見据え、町民のだれもがいきいきと元気に暮らせる、そして笑顔がはじける、活力に満ちた、「日本一住んでみたいまち」を目指して、魅力あふれるまちづくりを町民の皆様方とともに進めてまいります。

このたび、本町の歩みを振り返るとともに、いきいきと活動する方々の姿を紹介する町勢要覧を発行いたしました。この冊子が伊奈町を一層ご理解いただくための一助となれば幸いです。

Welcome to Ina Town

Kiyoshi Oshima, Mayor of Ina Town

On November 1, 2020, Ina Town in Saitama Prefecture commemorated the 50th anniversary of its establishment as a town.

The origin of the town's name goes back to 1591, when Ina Bizen-no-kami Tadatsugu established an encampment in Komuro (Adachi District) in the former province of Musashi, from which flood control, rice paddy establishment, river improvements and other public works were carried out which laid the foundations for the future development of the entire Kanto region.

In the 430 years since, the population of Ina Town has grown to around 45,000 people, making it one of the largest towns in Japan. Ina Town is situated within a peaceful, rural landscape filled with nature, yet is only 40 km away from central Tokyo. Thanks to these geographical advantages, combined with the opening of the Saitama New Urban Transit Ina Line (New Shuttle), urban infrastructure development and other residential environmental improvements, Ina continues to grow as a vibrant town attracting young people and families. Our hope is that we will preserve the town and heritage that our predecessors built, while adding to its appeal for future generations to come. We are eager to work alongside our residents to ensure that, when Ina Town's 100th anniversary arrives, it is "The best place you want to live in Japan" filled with happy, healthy residents and overflowing with charm and vitality.

The publication of this town guide is an opportunity to trace the history of Ina's past, as well as explore its exciting present. I invite you to read this booklet and get to know Ina Town a little bit better.



伊奈町町制施行50周年記念ロゴマーク

昭和45年11月1日に誕生した伊奈町は、令和2年に町制施行50年を迎えました。町制施行50周年を町内外に広くPRするとともに、より多くの方々に伊奈町への愛着を深めていただくため、ロゴマークを募集しました。町制施行50周年記念事業実行委員会及び町立小中学校7校149クラスの投票による審査の結果、左のロゴマークに決定しました。

ロゴマークデザインコンセプト

伊奈町の頭文字ひらがなの「い」をモチーフとし、町の花「バラ」と組み合わせました。バラは50周年、そして100周年、未来へ向け咲き続けるように伊奈町が発展することを意味し、回転するひらがなの「い」はこれまでの時代から新たな時代へと繋げることを表現しています。また色彩のグリーンは緑、大宮台地・豊かな自然、ブルーは伊奈忠次(関東の治水)、綾瀬川、原市沼川などの清い河川と青空、ピンクは未来への明るさ、環境へのやさしさの意味し、緑と花の美しい町をイメージしています。

美しき バラのまち

キラキラ Town **伊奈**

A Town of Beautiful Roses

伊奈町は、「バラのまち」とも呼ばれています。町制施行20周年の記念としてバラが町の花に制定されて以来、バラは町民に広く親しまれ、自宅の庭でバラを育てている方も多くみられます。バラ園では、花をきれいに咲かせるため、バラ栽培ボランティアなど多くの方のご協力をいただきながら大切に育てています。整備・拡張が進み、県内最大となったバラ園には、町内外からバラを鑑賞する方々が訪れます。

色鮮やかで美しいバラにふさわしい町へ。これからも、豊かな自然環境を守り、町民がいきいきと美しく輝けるようなまちづくりを進めていきます。



バラ園(伊奈町制施行記念公園)

敷地面積1万2千㎡に400種5000株を超えるバラが植えられています。見頃は5月上旬～6月上旬、10月下旬～11月中旬で、開花時期にはバラの甘い芳香が辺り一面を包み込みます。特に、伊奈町のために作成された品種、「イナローズ」と「イナ姫」はここでしか見ることのできない希少品種です。さらに令和3年5月には新しい品種「伊奈の月」がバラ園に植樹される予定です。

園内には歩道なども整備されており、バラの開花時期だけでなく町民憩いの場として人気の高いスポットです。



▲イナローズ



▲イナ姫



▲伊奈の月



伊奈町マスコットキャラクター
イナローズちゃん・
イナローズくん

双子のバラの妖精です。

Ina Town is known as the "Town of Roses." This stems from the decision, formalized on the 20th anniversary of the town's establishment, to adopt the rose as the town flower, after which roses began appearing in residents' gardens all over town. The beautiful, blooming flowers of the Rose Garden are carefully cultivated with the help of rose growing enthusiasts and numerous other volunteers. It has been developed and expanded into the largest Rose Garden in Saitama Prefecture and both residents and visitors alike come to marvel at its flowers.

Ina Town is an appropriate setting for such vibrant, beautiful roses. And we continue to protect our rich, natural environment in order to also ensure that our residents remain as vibrant and radiant as our roses.

交差・交流 つなぐまち

都心から40km圏内という首都近郊に位置する伊奈町。埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル）の開通により、伊奈町は都市型社会へと大きく発展してきました。昔ながらの地域のつながりや絆を大切にする伊奈町の良さを受け継ぎつつ、ヒトやモノが活発に行き交う拠点として、これからも伊奈町は成長を続けます。

Ina Town is situated in a suburban area 40 km away from central Tokyo. The opening of the Saitama New Urban Transit Ina Line (New Shuttle) has contributed significantly to urban population growth in Ina Town. Ina Town continues to grow as a bustling hub of people and things coming and going, but, even still, we remember the importance of preserving a heritage of personal, human connection.

キラキラ Town **伊奈**



町制施行50周年記念 ラッピング車両

50周年記念事業の一環として、ニューシャトルにラッピング車両がお目見えしました。1号車には伊奈町のマスコットキャラクター伊奈ローズちゃん・伊奈ローズくん、6号車には伊奈町が誇る偉人、伊奈忠次公がラッピングされ、多くの人の注目を集めました。



▲ラッピング車両



町内循環バス 「いなまる」

50周年記念事業の一環として、町内循環バス「いなまる」をリニューアル。運行時間帯およびルートを見直して1台から2台体制とし、1日の運行便数を5便から10便に増便。さらに、車両も新しくラッピングしました。

A Town of Connections and Intersections

人を創る 学びのまち

キラキラ Town **伊奈**

県立伊奈学園中学校・伊奈学園総合高等学校、国際学院中学校
 高等学校、栄北高等学校、埼玉自動車大学校、日本薬科大学
 がある伊奈町は町外からの生徒・学生も多く、若いエネ
 ルギーに満ちあふれた「学生のまち」です。

学生と住民との交流、情報交換などを活発に行い、これか
 らも協働して学びの場にふさわしいまちづくりに取り組んで
 いきます。

県立伊奈学園中学校・伊奈学園総合高等学校



県立伊奈学園中学校・
伊奈学園総合高等学校

1984年、全国で初めて総合選択制の普通科高校として創設され、2003年に中高一貫校となりました。生徒は中学に約240人、高校に約2,400人が在籍。高校では1学年20学級、計60学級を擁するマンモス校です。約15.5万㎡という広大なキャンパスには充実した施設と設備が備わり、約60ある部活・同好会活動も活発に行われています。



▲国際学院中学校高等学校



▲埼玉自動車大学校



▲栄北高等学校



日本薬科大学 さいたまキャンパス

赤松の森に囲まれた約5万坪という自然豊かな敷地に、予防医学や漢方が学べる「薬学科」、医療とビジネスの両分野が学べる、薬学部では初となる「医療ビジネス薬科学科」の2学科を設置。西洋医学と東洋医学を統合した「統合医療の実現」を教育理念に掲げる薬科大学です。



Ina Town is home to Saitama Prefectural Ina Gakuen Junior and Comprehensive Upper Secondary School, Kokusai Gakuin Junior & Senior High School, Sakaekita High School, Saitama Institute of Automotive Technology, and the Nihon Pharmaceutical University, making it a "student town" filled with the youthful energy provided by so many commuting students.

There is a great deal of active interaction and information exchange between the students and the local residents, and we continue to work with the educational institutions to develop further, appropriate opportunities for learning.

A Town of Learning and Learners

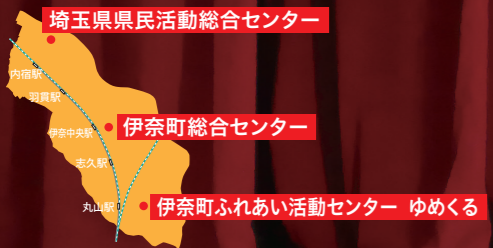
文化が 活きるまち A Town of Vibrant Culture

キラキラ Town **伊奈**

生涯学習の充実を目的として設立された伊奈町ふれあい活動センターゆめくるや、子どもからシニアまで、幅広い年代に親しまれている伊奈町総合センターなど、伊奈町は文化と触れ合う環境が充実。多くの人に活用されています。
生涯学習の場として、また様々な文化と出会う場として、こうした施設の充実と町民の文化活動の支援をさらに進めています。



伊奈町総合センター
老人福祉センター、コミュニティセンター、児童館、保健センター、公民館が併設されており幅広い年代の人に利用されています。各種サークルの活動拠点になっており、大規模な催しも可能な大ホールを備え、生涯学習の様々な講座が開かれるなど、町民にはなくてはならない施設です。



伊奈町ふれあい活動センター ゆめくる
体育室・トレーニングルームなどの運動施設と、会議室・調理実習室などの文化活動施設を併設し、地域の方々の自主的な活動と交流の場、生涯学習と健康維持の場として老若男女を問わず利用されているコミュニティスポットです。「ゆめくる」という愛称は、センターに入ると夢がやってくるという願いから名づけられたものです。



埼玉県県民活動総合センター
通称「けんかつ」と呼ばれる4階建ての同センターは町民のみならず、県民の生涯学習の一大拠点として機能しています。体育館やグラウンド、パソコン研修室やセミナー室、会議室や音楽スタジオなどを備えているほか、宿泊も可能。NPOやボランティアの交流の場として、また、情報交換や情報収集の場として、生涯学習のあらゆるシーンで活用されています。

Ina Town is an environment filled with opportunities for cultural enrichment, including at the Ina-Machi Fureai Katsudo Center (Yumekuru) for lifelong learning and the Ina-Machi Sogo Center, which is widely popular among everyone from children to senior citizens. These community-focused centers are used by a great many people.
We continue to work to make these centers even more accessible as lifelong learning and diverse cultural enrichment facilities, as well as to support residents in their cultural activities.

健康と 子育てのまち

A Town of Good Health and Child Care

キラキラ Town **伊奈**

暮らしの「安心」に必要な、健康サポート体制と充実した子育て環境づくりを進めています。
保健センターや子育て支援センターでは、各種検診や健康相談のほか、児童相談や育児相談を実施して子育て中の方の悩みを聞いたり、親同士の交流の場を設けるなど、強力に子育てをバックアップ。人々が安心して暮らせるまちづくりに力を注いでいます。



▲北保育所



▲南保育所



▲保健センター



子育て支援センター

就学前のお子さんと保護者が安心して過ごせる場所です。地域で子育て中の親子が集まって仲間作りをしたり、育児の不安について相談したりすることができます。

Robust health care and child care are essential for creating a living environment which provides peace of mind.

Ina Town's Health Center and Child Care Support Center provide strong support to parents and caregivers through one-on-one consultations about parenting and child care concerns, interaction and exchange with other parents, and through various other opportunities. Our focus is on creating a community where residents feel reassured and secure in their lives.

私たちのヒトモノコト 伊奈町を紹介します

射撃競技で全国制覇 次なる舞台は「世界」

小西 伶奈さん
国際学院高等学校2年生 射撃部

キラキラTown 伊奈

射撃専用の恵まれた環境と指導で技術を向上



国際学院高等学校(以下、国際学院)創立時からある伝統の射撃部。部員の入学の決め手は、国際学院で射撃の腕を鍛え、全国を目指したいという理由がほとんど。でも私の場合は少しだけ異なります。私が国際学院を選んだのは、「英語教育」に特化しているから。射撃部に入学しようと思ったのは、たまたま参加した射撃部体験会がきっかけでした。ピストルを撃たせてもらった瞬間、競技の面白さや難しさを全身で感じたのが印象的だったからです。

国際学院に入学して驚いたのは、とにかく敷地が広くて緑がいっぱいあること。「文武両道」をモットーとし、部活動に力を入れているのも特徴。なかでも、強化指定部である射撃部は、全国大会優勝の常連です。専用の射撃場があり、恵まれた環境で練習ができるのは、とてもありがたいことだと思っています。通学に毎日片道2時間かかりますが、やりたいことができているので、まったく苦には感じていません。



全国でもトップクラスの活躍を見せる射撃部に所属。2020年度全国高校スポーツ射撃競技大会のエアピストル男女混合の部で見事優勝。射撃界期待の新人として注目されています。

世界で活躍するトップアスリートを目指したい

山形 美由紀さん
小学校6年生 「彩の国プラチナキッズ」



スポーツ能力に優れた子どもたちを発掘し、トップアスリートに育てる「彩の国プラチナキッズ」のメンバー。現在は馬術をはじめ、さまざまなスポーツに挑戦中。将来の目標は「日本代表」です。



プラチナキッズとして トレーニングの日々

小さいころから空手をしていました。跳んだり、走ったりするのも大好きで、運動会の徒競走はいつも1位でした。プラチナキッズの競技体験をきっかけに陸上と馬術を始めました。今、一番得意なのは走幅跳びですが、他にも自分の興味がある競技を体験中で、今後は一つの競技に絞って、力を伸ばしていくこととなります。

プラチナキッズに選ばれてから、いつもの生活が変わりました。母に頼んでタンパク質の多い食事をするようにしたり、毎日、30分の筋トレで体幹を鍛えたりしています。メンバーはレベルが高い人ばかり。そういう人たちと一緒にスポーツができることはとても貴重だし、自分の意識も変わったように思います。

射撃の魅力は「繊細さ」 集中力と精神力の勝負

高等学校ライフル射撃競技大会では圧縮空気弾丸を発射する「エアライフル」、小銃型の「ビームライフル」、拳銃型の「ビームピストル」の3つがあります。どれも10m先の標的を狙って、合計点数を競います。

わずかな誤差で点数が大きく変わるのが射撃の醍醐味であり、面白さ。足の位置や姿勢など、数ミリのズレが点数に反映される繊細な競技です。だからこそ、大切なのは「集中力」と「精神力」。その二つが少しでも欠けたら、ミスにつながります。

私は2年生の7・8月の全国大会で続けて優勝することができました。これからも全国制覇を狙い、その先にある「世界」も目標に日々、射撃の練習と英語の習得に励んでいきたいと思っています。



「一発一発、深呼吸をして、気持ちをリセットしてから撃つようにしています」と小西さん。これが、優勝の決め手になったそうです。

愛用の銃



キラキラTown 伊奈



友だちと遊び、運動に励んだ 公園は大切な場所

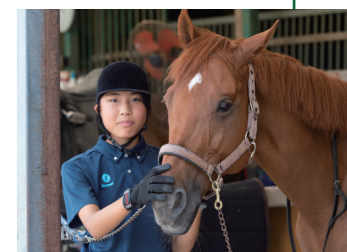
こうしてプラチナキッズに参加できたのも、小さいころから公園で体を動かしていたことが影響している気がします。近くにいっぱい公園があるので、遊ぶのも運動するのも、すべて公園。思い切り体を動かせる場所があるのは、私だけじゃなく、みんなにとっても嬉しいことだと思います。

それから、伊奈町はスポーツに強い学校が多いので選択肢が広がるのもいいところだと思います。今は、自分がどのスポーツにするかを決めるのが先決。方向性が定まったら、そのスポーツに強い学校に進んで、さらに腕を磨きたいと思っています。

今の私の目標は「日本代表」です。だから、これから伊奈町を出てしまうかもしれませんが、友だちと一緒に楽しい時間を過ごし、トレーニングに励んだこの町は、いつまでも私の大切な場所です。



馬術だけでなく、フェンシングや水泳、射撃など5種類の競技に挑戦する「近代五種」も視野に入れているという山形さん。これからの活躍が楽しみです。



農業の新たな可能性を伊奈町から発信!

大橋 一幸さん
ベジタブルボーイズカンパニー 農業家

キラキラTown 伊奈

「日本の文化」に関わりたいたいという思いから農業の道へ

「日本の文化」に関わる“何か”がしたいと考えていた高校時代、「農業も日本の文化を守る職業」という先生の一言に幼い頃の記憶がリンクしました。近所のおばあちゃんとイナゴ捕りをしたり、用水路で魚やザリガニを捕って遊んだ思い出は時を経ても色あせていなかった。そんな自分が体験したこと、感じた風景を次代に残したい。カッコよく言うと、「日本の農業を守りたい」って思いました。



実際に仲間と農業を始めて感じたことは「地域の温かさ」です。畑仕事をしていると、必ず声をかけてくれたり、暑い日には飲み物を差し入れてくれたり。地域の人が温かく見守ってくれているというのを日々、肌で感じています。



埼玉県農業大学校を卒業後、仲間たちと「ベジタブルボーイズカンパニー」を設立。年間150種類ほどの季節の野菜を直営の野菜直売所で販売しているほか、県内のスーパーや飲食店に卸しています。

固定観念にとらわれず仲間たちと切り拓く農業の“未来”

2020年11月に新たな農業の発信拠点となる直売所とカフェスペースを設けた「ベジボーイキッチン」をオープンしました。直売所だけでなく、野菜を使った惣菜やお弁当も提供。ヨーロッパ野菜など珍しい野菜も自分たちの売りなので、その魅力をちゃんと伝えるという「発信者」としての役目を果たしていきたいですね。

これからも、「農業」という固定観念にとらわれず、農業のいろいろな可能性に挑戦したい。海外展開もその一つですし、「無人コンビニ」ならぬ、「無人畑」で消費者自身に収穫してもらうのも面白い。伊奈町で実践する新しい農業の形がほかの地域にも広がっていけば、結果的に「日本の文化」を守ることになりますし、少し大げさだけど、日本の未来を守ることもつながると思っています。

「野菜の生産から食べるまでをマネジメントできれば、もっと野菜を食べてもらえるのでは」という期待を込めた農園レストラン「VEGEBOY KITCHEN(ベジボーイキッチン)」。大橋さんの挑戦はこれからも続きます。



大好きな伊奈町で、ママの笑顔を増やしたい

丸崎 麻衣さん
保育士 「おひるねアート」講師

伊奈町に漂う、ゆったりとした空気感がお気に入り

伊奈町に生まれ育って一度も伊奈町から出たことがありません(笑)。のんびりしていて、温かみがあって、近所のつながりもすごくあるんです。うちは割とお年寄りが多い地域ですが、「昔はこうだった」と押し付けるのではなく、「若い人の意見も聞くよ」という雰囲気があって、幅広い年代がみんな協力して地域活動をしている感じなんです。

こうした「人」とのつながりがあると、子育てもしやすいですね。みんなが温かく見守ってくれているのをすごく感じます。そんな温かい地域で自分も「何かできることを」って考えて始めたのが、「おひるねアート」です。もちろん、自分のペースで働けることに魅力を感じたのがあります。

おひるねアートは赤ちゃんに背景や小物をつけて撮影するもの。カメラマンはママです。子育て中ってどうしても家にこもりがちになってしまいます。だから、おひるねアートをきっかけに外出して子どもの可愛い姿を見てママたちに笑顔になってほしいですね。



伊奈町生まれの伊奈町育ち。パートの保育士として勤務する傍ら、「おひるねアート」の講師として、親子の“笑顔”を増やす活動に励んでいます。琴ちゃん・右太ちゃんのママとしても奮闘中。

キラキラTown 伊奈

世代を超えて伝えていきたいふるさとの原風景

県内最大のバラ園、無線山・KDDIの森の桜並木のトンネル、田んぼと新幹線の風景。私が大好きな場所はいっぱいあります。実は父も伊奈町が好きで、よく伊奈町自慢を聞かされていました。私も子どもを産んで父の思いがとてもよくわかりました。世代を超えて伝えられるものがあるって、とても大切なこと。これからも、ゆったりと流れる「伊奈町らしさ」はずっと変わらずにいてほしいですね。



「おひるねアートは会場選びから設営・準備まですべて自分でこなします」と丸崎さん。親子の笑顔を見られること、自分のスタイルで働けることが魅力だそうです。

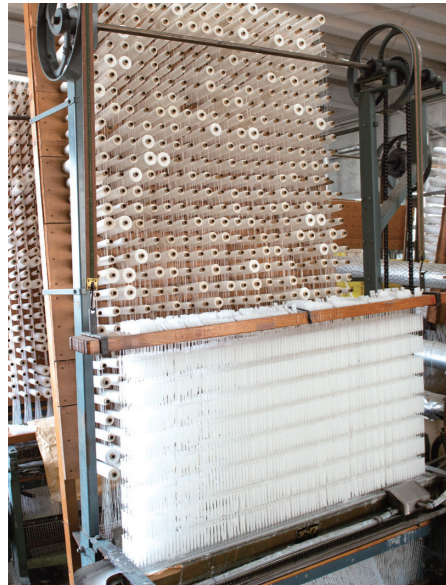


ポテンシャルの高さを活かした“町の活用法”に期待

町田 伸吉さん
町田ローソク株式会社 代表取締役会長



工業団地の造成は製造業者のビッグチャンスに



父の独立を機に会社員を辞めて伊奈町で創業。35年ほど前から、町北部に工業団地の造成が始まったことは、製造業を営む者としてはビッグチャンスでした。会社のイメージアップも図れるし、専用地的なため振動や匂い、音などのクレームもなく安心して操業できます。私だけでなく、この団地が造成され、町の工業関係は大きく発展しました。

また、商工会では商工フェアとB級グルメ大会を合体させた「商工フェスティバル」を5年前から開催。もっと町内の商工業者を町内外の人に宣伝しようと、商工会員が出店するなどにぎやかなイベントに発展しています。みんなが手を携えて「人」と「人」をつなぐ。これも伊奈町の町民性だと思います。



45年前、伊奈町で「町田ローソク株式会社」を創業。アロマやブライダル用、神仏用まで、キャンドル全般の製造を行っています。一方、長年、商工会活動に携わり、6年前から商工会会長となって地域活動に尽力しています。

豊かな自然や高い利便性 子育てにも最高の場所

伊奈町に来た当初は、夜になると真っ暗。東京出身の私の遊び場はそれまで、新宿や銀座でしたから正直、寂しかったですね(笑)。当然、子育ても伊奈町でした。小川や雑木林など自然環境が豊かな伊奈町は、子育て環境としては最高の場所。子どもたちは片道40分かけて小学校に通い、足腰も鍛えられました。

こうした緑の多い伊奈町に最近はカフェやパン屋、ケーキ屋など個人経営のおしゃれな店が増えてきました。都心から1時間というアクセスの良さ、豊かな自然環境の中に点在するこだわりのお店…伊奈町はとてポテンシャルの高い町です。例えばシェアオフィスを作るなど、伊奈町にある資源やアドバンテージを上手に活用することが、今後の伊奈町の発展につながっていくと思います。



町田さんが製造する、バラの香りがほんのり漂うアロマキャンドルなどはバラのまち・伊奈町にふさわしいろうそく。ふるさと納税の返礼品にもなっています。



盆栽作家として盆栽の奥深さ、新たな魅力を世界へ

木村 正彦さん
盆栽作家



盆栽のプロ作家展で数々の賞を受賞。2006年に黄綬褒章受章。盆栽作家として腕を振るう一方、一つの盆栽に自然を題材とした景色を再現する「創作盆栽」という独創的な世界を確立。世界各国から講師として招かれ、盆栽の奥深い世界を広めています。

40年前に転居、 伊奈町が いつのまにか「都」に

元々は旧大宮市の盆栽町で生まれ育ちました。15歳から11年間、修業して独立。庭園を造ったり、盆栽を育てたりするための広い場所を探していて、知人に紹介されたのが伊奈町でした。当時は周囲に何もなくて、自然豊かで虫も飛んでいました。盆栽を育てるにはうってつけの場所でしたね。

それから40年以上が経ち、町はすっかり様変わりしましたが、「住めば都」の言葉通り、自分にとって伊奈町はいつのまにか都になっています。



登龍の舞

心が引き込まれるような 自然の景を盆栽で再現

日本固有の文化である盆栽に新風を吹き込むのは大冒険でした。その点、私は運が良かった。デビュー作となった「登龍の舞」で内閣総理大臣賞をいただき、多くの人に認められて「創作盆栽」という独自の世界を確立できました。

私が手本としているのは、自然の素晴らしさです。世界各国に講師として招かれた時、気になった場所は必ず訪れます。例えば、アマゾンのジャングルのような、中国の景勝地のような、奥深い世界を盆栽で再現することで、見る人の「心の目」が引き込まれていく。そんな作品づくりを心がけています。

また、盆栽作家として一番大切にしているのは「命の尊さ」です。盆栽も生き物ですから、いい加減なことをすれば枯れてしまいます。一つひとつの盆栽と真摯に向き合うこと。これこそ、盆栽作家の真髄です。

こうした思いや技術を伝えるため、育てた弟子は国内外合わせて30人以上。これからの人々には自分にしかない感性を発揮して、盆栽の新境地を切り拓いてほしいですね。

内閣総理大臣賞を受賞した「登龍の舞」。断崖絶壁に自生していた木から制作した作品です。圧倒的な存在感と自然の持つ力強い生命力が見る者を魅了します。

